

5 月度 例会 山行報告書		報告者	杉本 孝	参加 メンバー	CL:岸上 薫 SL:吉田 明和 杉本 孝
個人		報告日	06/10		
山 域	恵那山周辺	山行日	09 年 05 月 30 日(土)		
山 名	南木曾岳				
山行目的	やまびこ祭	コースタイム (天候: 天気図記号)			

配布先
集会:12
山行: 1 リーダー
原紙:集会 担当者

ルート図 (地図を見て正確に)

2.5 万分の 1 地図:

05/30 晴れ/雨
06:30 デンソー本社 P 集合
07:45 屏風山 PA (全員集合)
09:00 木曾自然探勝園駐 車場(登山口)
09:20 発
10:10 一本
10:40 一本
10:58 カブト岩
11:05 南木曾岳頂上
11:10 見晴台 大休止
11:30 下山
11:50 摩利支天展望台
12:33 一本
13:12 木曾自然探勝園駐 車場(登山口)
13:35 南木曾温泉
14:50 妻籠宿観光
16:20 赤まんま着

〈山行報告〉 低気圧が停滞しており、「どうやら今週も雨かあ〜。どうも最近憑いてない。」なんて事を思いながら半ば諦めていたが、土曜の朝は晴れ。まあ山の天気は当てにならないので、テンション上がりず、本社N1駐車場に急ぐ。全体集合の屏風山 PA で開会式を済ませ、我がグループは安全運転で登山口まで軽快に車を走らせる。駐車場に到着、準備をし、いざ出発。吉田君は今日もペットボトル6本を詰め込み歩荷訓練だ。感心の一言である。1時間程歩くと、急に道も険しくなり、梯子の急登もあり、吉田君の息が上がる。安全を考え1本取り、頂上を目指す。暫くすると、視界が開け、カブト岩が見えてきた。絶壁の大きな岩盤が3~4本あったらどうか、カブトのように見えるやら見えないやら。ここまで来ると、頂上まであとほんの少し。岸上君持参の GPS も多少の誤差はあるものの、頂上付近にいたことが分かり、見やすく、使いこなせばけっこういけるかも。カブト岩から僅か7分で頂上到達。先客パーティーに写真撮影を頼み、見晴台に向かい、ここで大休止を取る。大きな岩が切り出していて、絶壁になっているので、前のめりになれば落ちそうな場所であった。雲行きも怪しくなってきたので、休憩も早めに済ませ、下山する事に。ほんのちょっと行った所に避難小屋があり、それを過ぎた所に、これこそ見晴らし台と言うべき眺望の良い場所があった。看板もあり、山々の名が書かれている為、分かりやすい。雲に隠れていたが、東に南アルプス、北に御嶽も見える。先程の先客パーティーがヤッホーを連呼しており、谷を抜けるこだまが良く響く。我々も真似して大きな声を張り上げ叫ぶ。さらに進むと、魔利支

天展望台に差し掛かり、こちら大きな岩が張り出していて、先端は絶壁。滑ると一貫の終わりだが、眺望は素晴らしい。ここから降り、さらに急になり、登りもそうだが、降りにはさらに梯子が多い。濡れている木の上は、滑りやすく注意が必要だ。下山開始から、約 1 時間程降った所で1本取る。皆、結構膝にきている様子だ。膝を庇い撫でながら屈伸をする。雨も降り出してきたが、丁度木立に囲まれ、体には然程濡れないまま、無事登山口に着いた。

フリースペース

南木曾岳頂上にて

〈リーダー所見〉
天候が不安定な状態での山行であり、夜の部を楽しむという目的もあって、少し早めのスピードで歩いた。何とか雨に降られずに無事下山することが出来、パーティーとしては、スピード感ある山行をすることが出来た。自分自身としては、鎖場や梯子部分でバランスを崩すことも多く、歩き方や沢登りの技術を身に付ける必要性を強く感じた。

確認
(リーダー)

岸上
09/06/09

作成
(報告者)

杉本
09/06/05